

全身麻酔下で白内障の手術を受けられる様

《入院診療計画書》  
 説明日 年 月 日

眼 担当医師 担当看護師

経過 月日	入院日～手術前日 ( / ~ / )	手術当日 (手術前) ( / )	手術当日 (手術後)	手術後1日目～退院日 ( / ~ / )
安静度	制限はありませんが、なるべくお部屋でお過ごし下さい。	眼の安静のため、トイレ・洗面以外はベッドでお過ごし下さい。トイレまでは歩くことができます。	手術後の状態に応じて安静度は変わります。	医師の診察で眼帯が外れたら、制限はありません。
食事	特に制限はありません。病室に配膳致します。下膳も看護師が行ないます。	朝から飲んだり食べたりできません。麻酔科医師から飲水時間、血糖測定などの指示があります。	手術後の状況に応じて昼または夜からお食事が再開となります。	特に制限はありません。
清潔	特に制限はありません。手術前日までに入浴またはシャワー浴をしておきましょう。	入浴できません。通常の洗面をして下さい。特に歯磨きをして下さい。ヒゲは剃って下さい。		首からはシャワーに入ることができます。(入浴・洗髪は医師の許可が出るまで出来ません)お顔は拭く程度にして、洗ったりしないでください。歯磨き、ひげそりは制限ありません。
検査・処置	手術する側の耳たぶに医師がマジックで印をつけます。	手術に行く前に弾性ストッキングを着用して下さい。	手術後何度か検温に伺います。	眼科処置室で診察を行ないます。その後眼科外来で視力検査を行ないます。
点眼	手術の3日前から使用している点眼薬は、本日寝る前まで使用してください。	( : ) から30分置きに ( ) 眼に瞳を開く目薬をします。		診察終了後より目薬が開始となります。
内服薬	ご自宅から持参されたお薬を看護師と薬剤師が確認させていただきます。	麻酔科医師の指示で内服をします。		
点滴			手術室で点滴をします。終了後、針を抜きます。	
説明指導	入院時の説明をします。手術の流れについて説明します。手術室の看護師が、当日の手術についての説明のため、病室を訪問します。	手術室から連絡が来ましたら、声をお掛けします。トイレを済ませてお待ち下さい。車椅子で手術室へ向かいます。時計、メガネ、義歯、アクセサリ、ヘアピン、カツラ等は外し、貴重品はご家族に預ける等、紛失しないように保管して下さい。	ベッドで手術室から病室へ戻ります。看護師がお迎えに参ります。手術後数時間は酸素マスクを付けます。	眼帯が外れたら、保護メガネを着用しましょう。眼をこすったり、汚れた手で触れると、眼に菌が入ったり、傷が付きやすいので、眼はこすらないようにしましょう。
その他	手術の同意書をお預かりします。点眼用の拭き綿、保護者メガネ準備して下さい。⇒地下1階の売店で販売しております。保護メガネは手術翌日から必要となります。手首にネームバンドを着用します。	弾性ストッキングを履いて手術室へ向かいます。下肢の血栓予防のために両足にフットポンプを巻きます。	眼の痛みがある時や気分が悪い時、眠れない時はお知らせ下さい。医師より離床の許可がおりてから両足のフットポンプを外します。	テレビは見ても構いません。

上記のスケジュールにそっての入院生活になる予定です。予定は変更になる場合があります。ご不明な点は、遠慮なくお尋ね下さい。

注) 1 入院期間については、現時点で予想されるものです。

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 平成30年7月作成 5S-全麻下白内障 K-1